



みんなで「なりたい学校」の姿を示した体育祭!

5月26日（金）体育祭。5月としては暖かく、午後からは日差しも陰り、絶好の天気でした。天気も、一中生を応援してくれているように感じました。

学級での団結が示される、長縄跳び、HRリレーでは、大変な意気込みと集中力を見せてくれました。一人ひとりが役割を理解し、取り組んだ成果です。

選択種目では、得意不得意がある中で役割が決まったと思いますが、それぞれ緊張感を持ち、競技前に集中しイメージを繰り返し替えている姿が印象的でした。

そして、初めての試み、生徒会種目。生徒会役員は「学年問わず団結力を深め、喜びを分かち合う」ことを目的として、大変な準備を重ねてきました。スタートではみんなで構え、玉に向かって走った後の砂煙が、生徒全員の意気込みとして現れていました。生徒主体で取り組む事にももちろん素晴らしいことですが、全校生徒が意欲を持って取り組むためには、丁寧な計画づくりと、しっかりした指示が必要です。その課題を解決して玉入れを実施し、みんなで盛り上がる企画を成功させました。

みなさんは小学校の時から、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けてきました。ですから、様々な行事が縮小されたり、大きな声を出せなかったりしたと思います。一中でも昨年度は円陣を組めなかったと聞いています。ですから、今年の体育祭は大きな転換点にあったわけです。その体育祭を盛り上げ、成功に導いた、生徒会役員、全校生徒の皆さんの努力と姿勢に感動しました。

まさに、生徒会テーマ「喜紡」を達成！みんなで喜び合い、学校生活の未来に紡ぎました。



活動の制限がある体育祭を過ごしてきた3年生は、最後の体育祭に全力で取り組む力強さを見せてくれました。学校のリーダーである生徒会役員としてはもちろん、一人ひとりの姿勢と努力が、全校生徒をリードし、一中を牽引してくれました。

クラス替えをしたばかりの2年生は、昨年度の経験を活かし互いに声をかけ、取り組んでいる姿がさすがと思わせました。これからの成長と学年の姿が楽しみです。

1年生は、思い切り体育祭を楽しんでいる姿が印象的でした。これは、一人ひとりが「楽しい」「頑張ろう」という気持ちが通じ合っているから伝わることです。

会場全体が盛り上がる一方、最後まで走るリレーの選手や、車椅子参加の選手に温かい拍手と声援が送られ、みんながめざす「なりたい学校」の姿をみせてくれました！

一生懸命って、美しい！



さあ！次は
中体連と
中間テスト
だ！

